

議会運営委員会報告書

平成26年12月5日

備前市議会議長 田 口 健 作 殿

委員長 橋 本 逸 夫

平成26年12月5日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

- 1 平成27年度議会費の予算要求について

議会運営委員会記録

招集日時	平成26年12月5日（金）		全員協議会閉会后	
開議・閉議	午前11時12分	開会　～	午前11時44分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	会期中（第6回定例会）の開催		
出席委員	委員長	橋本逸夫	副委員長	西上徳一
	委員	尾川直行		津島　誠
		掛谷　繁		星野和也
欠席委員	なし			
遅参委員	なし			
早退委員	なし			
列席者等	議長	田口健作	副議長	守井秀龍
傍聴者	議員	なし		
	報道	なし		
	一般	なし		
説明員	議会事務局長	草加成章	議会事務局次長	入江章行
	議事係長	石村享平	議事係主査	青木弘行
審査記録	次のとおり			

午前 11 時 12 分 開会

○橋本委員長 出席委員は全員でございます。定足数に達しておりますので、お疲れのところ大変恐縮ですが、ただいまより議会運営委員会を開会いたします。

まず、平成 27 年度議会費当初予算について議会事務局より説明を求めます。

○入江議会事務局次長 それでは、御説明をさせていただきます。

かいつまんだ資料となっておりますことをまずはおわびを申し上げた後に御説明に入りたいと思います。

当初予算の要求状況というブルーのほうをごらんいただきたいと思います。副題になっておりますとおり平成 27 年度の当初予算（議会費）の査定前の資料でございます。

1 枚めくっていただきまして、予算編成方針、さきの一般質問でもお話がございましたが、今回 11 月 7 日に総合政策部から予算編成方針が示されております。内容につきましては、平成 27 年度以降、年を追うごとに普通交付税の合併算定がえ優遇分の削減が拡大してまいります。その減額に見合う大幅な歳出予算の削減に踏み切りざるを得ない。3 点目として、現行実施事業の費用対効果を再検証し、積極的な事業の統廃合という意味も含まれておりますが、それを進める必要があるといった予算編成方針がございます。その目的については幸福な備前市の将来を見据えてということで、真に適正かつ効果的な予算要求をお願いしますとくられております。

議会費の要求につきましては、さきの議運で申し上げたとおりでございますが、概略を改めて御報告をさせていただきます。

まず、枠配分とはというところがございます。具体的には経常的な経費、これを 1 次要求とっております。その中の一般財源、議会費は全てが一般財源ですので、歳出予算そのものになりますが、対前年比で 203 万円の減額を求められるものでございます。2 点目として、義務的経費や政策臨時的な経費、これを 2 次要求一般財源と申しますが、これは別枠の個別積算でよいとされております。

それでは、具体的な中身ですが、経常的な経費、1 次要求分を対前年比の 85% にしなさいという方針でございます。金額で申し上げますと、本年度平成 26 年度の予算では 1,350 万 8,000 円のところをほぼ 85% の 1,147 万 8,000 円にして要求願いますという方針でございます。この中で議員報酬や政務活動費、議長会等の負担金は配分枠の対象外です。議会運営や議会活動、委員会調査等議会の調査費は枠の対象です。議会広報費も対象となります。

裏面をごらんいただきたいと思います。今回事務局が提出した予算の概要を申し上げます。これについては、まず前提条件がありまして、これまでの改革実績を前面に出した要求をさせていただきました。議員さんが行った定数削減の実績が過去にありますので、これは見てくださいという意味の要求をさせていただきました。さきの議運でも申し上げましたが、議会活動に資する経費は減額した要求としない。本市の議会運営、本市の委員会調査費、本市の議会広報費用については、原則的に現行を維持したもので考えました。事務局の事務費については、可能な限り

編成方針に沿うものとしたしました。会議録、委員会録の作成など、事務的な経費でございます。要求額は別添のとおりであります。総額では1,223万7,000円の一般財源を要するものとなっており、枠ということであれば、85万9,000円の超過要求とさせていただきます。この後、先ほどもありましたが、議会のICT化等必要な予算については査定段階であっても追加要求をするという心づもりを事務局としては持っております。具体的な数字について、非常にお見苦しい資料で大変申しわけないんですが、A3の資料をごらんいただきたいと思っております。平成27年度当初予算要求状況、議会費の個別のものでございます。

まず、一番上、議員報酬です。左は平成26年度当初です。今回の要求については、要求(2次)というところが、6,972万円となっております。これは減額とはなっておるんですが、議員定数が21名から16名になりますので、その数字が積算されたものでございます。

まずは、表の見方を申し上げます。網かけの全体というのが要求1次、今回問題になるところでございます。左から議会運営にかかわる要求1次予算、次が会議録作成に要する要求分、その次が議会の庶務に関する1次分、議会の庶務の2次というのは、先ほど言いましたような議員さんの報酬、期末手当であるとかというもので、絶対に要る物は要ると言わざるを得ないところでございます。次が、また網かけになっておりますが、議会広報、議会だよりの発行経費でございます。3番目が議会の調査、主に委員会の調査旅費、随行旅費というものになります。次の議会調査の要求2次というのは政務活動費になっております。それでは個別にかいつまんで申し上げます。

1番目は議員報酬、7,300万円をいたずらに6,900万円にしたわけではございません。議員期末手当についても同様でございます。共済費、これは市議会議員の退職年金の関係の市費負担分ですが、これは概算数値で上げております。次の事務費負担金、それも同様でございます。事務費や議員の定数が、現定数にかかわる部分がございますので減額になります。次、報償費、これは削減対象でございますが、11月に行いました議員講習会の講師等々の謝礼分として昨年と同様のものを要求させていただきました。費用弁償、出張、正副議長の出張、普通旅費については、その随行部分とそうでない部分とがございます。委員会調査旅費については変えていないはずですが。議長交際費、ここは議長に御無理を申し上げまして、19万4,000円のところ、枠配分では16万5,000円になりますが、一月1万5,000円、18万円ぐらいでお願いできませんかというところで御無理を申し上げたところになります。消耗、燃料、食糧、印刷製本につきましても、事務局が使う部分については、それなりに削減をしたところもございます。ただし、印刷製本費の議会だよりとなっておりますが、ここは本年度、26年度は272万2,000円の一般財源を要してございまして、枠配分に入ってまして、231万4,000円にしないといけないんですが、それでは質が落ちますので、そのまま上げさせていただいております。修繕料については、積み上げの結果、このようになっております。通信運搬費、公用車の保険、手数料、広告料につきましても、実績数値に基づくものでございますので、削減というよ

りはこれで大丈夫だということになっております。委託料、会議録の委託料については、昨年は296万5,000円を持っておりました。枠配分としては、一律に85%を掛けると252万円になりますが、それよりもさらに削減ができるだろうと、会議録の作成ページの話になります。昨年までは900ページを持っておりましたが、今回は700ページで十分であろうと。それと、委員会録もそのような形で考えております。これについては、予算額とは別に決算額を見越してまいりました。例年ここ3年間の決算額は400万円に届いておりません、この会議録と委員会録の作成費用については、それを見越して400万円程度はここで見ておけば大丈夫だというつもりで、事務局が使う経費でもございますし、その辺の減額をさせていただきました。検索システムの処理についてもこの会議録のページ数によりますので、整合性をとって減らしております。検索システムについては変わりません。有料道路、自動車借り上げ、その他については、ほぼ議員さん方がお使いになる部分がありますので、現状どおりとさせていただきました。

次に、備品購入費でございますが、庁用備品、我々事務局の庁用備品を些少なりとも減らして、議員さん方がお使いになる図書費に回させていただきました。政務活動費、ここも減額になっておりますが、これについても議員数、議員定数が基礎になっております。26年度は4、5月分は21名の議員さんでございますので、その部分が影響して減っておりますが、月単価、年支給額は変えるつもりはありません。全国中国県議長会の負担金等、各種負担金については、職員の研修部分を除き、削るつもりはなく、要求をさせていただきました。これによって枠配分は下にブルーの丸で囲んだ括弧丸Aというところがありますが、とその隣の丸B、この差額が超過分となります。一番右下の超過となっております。B引くAが85万9,000円というふうな要求とさせていただきました。

以上でございます。

○橋本委員長 ただいま事務局から要求の概要ということで説明がございました。この説明に關しまして御意見あるいは質疑ございましたら、お受けいたします。

○尾川委員 この説明書の改革実績を掲げた要求とするという、その辺をもう少し取りまとめ、議会だよりで出すぐらいにして、定数削減だけじゃなしにいろいろやっとならうと思うんです。事務局も頑張っただけでしとるし、議員もそれなりにコスト削減に努力してきたと思うんです。やはりここらあたりでもっと議員としたら頑張っただけでいかなと、もうますます存在価値がなくなってきた、要らんよということになってくると思うんで、この改革というか、今までいろいろんな皆それぞれやってきたと、頑張っただけでほしいと思います。

○入江議会事務局次長 はい。事務局として編集委員会に御提案を申し上げたいと思います。

○橋本委員長 ほかに。

○掛谷委員 枠配分過不足、これが合わせて実際のところはこれが85万9,000円とはならんと思うんですけれども。一体幾ら削減をしようとしてるのが、この具体的な中身の1,350万8,000円から1,147万8,000円、この85%にということなんですけれども、今の

現状というのはいくらの削減をしようとしとんですか。

○草加議会事務局長 この表の2行目、枠配分というものがあります。これが財政当局から示された経常経費の15%をカットすると、27年度の議会費は1,147万8,000円、これが85%部分ですよということなんで、この枠配分の過不足と、一番右端の85万9,000円ですが、その枠配分のすぐ横、3行目、全体要求(1次)、3行目、網かけをした一番下のところ、1,233万7,000円ですよ、この枠配分Aと書いてありますけれど、それから全体要求がBですね。このBからAを引いたものが85万9,000円、すなわち85万9,000円は財政当局が示した額よりも上回って要求していると、要求どおり、財政当局の指示してるとおり削減できていない金額が85万9,000円、つまりオーバーしていることを示しています。この表の中の最初めくっていただいたところ枠配分のところの三角の203万円の出し方なんですけれど、左から3行目の全体要求(1次)の前年度数値、一番下のところ1,350万8,000円と、それからこの枠配分、Aのところ1,147万8,000円、これを差し引きしたものが三角の203万円、この議会費の要求のところの数字になっております。

○掛谷委員 ですから、オーバーリングしているのはわかりました。これを今出しているわけでしょう。これが認められるか認められんかというのはいつごろわかるんか、またその雰囲気はどうなんですか。

○入江議会事務局次長 まずは財政課長を筆頭とした査定、第1次査定が12月中に行われる予定です。今までは前年度まではほぼ財政課の指示のとおり何とかクリアをしていっていたもんですから、その財政課の1次査定でもう全部がオーケーと、2次査定に回るようなことはなく、そのまま予算化となりました。今回は財政課の指示より86万円ほど余計に要求をしておりますので、財政課が直ちにうんと言うかどうかはわかりません。ただ、うんと言うてもらうように私は動くしかありません。

○草加議会事務局長 ちょっと補足をさせていただきますけれど、先ほど尾川委員さんのほうからも話がありましたけれども、議会改革ということで、定数の削減を初め、いろいろ御努力をさせていただいておりますので、経常経費たとえ86万円ほどオーバーはしておりますけれども、議員さんの定数削減等で1,148万円落ちております。そういったこともありますので、今までの努力も認めていただきたいということで、オーバーはしているけれども、この要求を通していくということで、そういう気持ちで折衝に臨んでいきたいというふうに考えております。

○掛谷委員 最後に。ぜひ議員みんなに御苦労かけて定数を16人にして、大幅な削減を实际やっているわけです。そういう意味では議会に同じようなシーリングをかけてくればいいでしょうけれども、はね返す勢いでやっていただきたい。それは尾川委員のおっしゃるとおり私も賛成でございます。よろしく、頑張ってください。

○橋本委員長 ほかにございませんか。

○津島委員 この85万9,000円は超過しとんじゃけど、ちょうど都合ええことにこの五、

六万円のタブレットを16人でちょうどちゃんになるから、そういうことも考えたほうがええんじゃないかと思えますけどな。ちょうど15%カットの超過分が帳消しになると思えますよ。

○尾川委員 85万9,000円のせめぎ合いなんですけどね、私はずっと前から言うてきとんですけど、議員研修の講師謝礼が17万円のところを20万円残したのは努力の跡は買うんです。ただ、この間瀬戸内市と一緒にやった経緯からして、年2回ぐらいね、よそと連携した講習会、研修会をして、また別に備前市議会にマッチしたものをやるということで、もう少し費用とってやっていく努力をしてほしい、その努力の跡というのはよう見とんですけど、感想ですね。

○津島委員 これ全議員にまた配るんかな。全協せにゃいけん、この15%カットの。

○橋本委員長 過去の経過、経緯はどんなんですか。全議員にこういったことを説明しておったんでしょうか。

○入江議会事務局次長 まずは議会運営委員会へ御報告をし、この結果通知を各議員さんにお送りしますので、通例では、議会費もそれで予算化ができていましたから、それで事は足りておりましたが、これが例えば減額されるような話になると、そうはいかないのかなというふうには思っております。

○橋本委員長 とりあえずどんなでしようか。これをメールボックスに入れて、執行部がどのように出てくるか、そういったところを見計らって、全協の開催の必要があれば議長にお願いをして。

○尾川委員 今までは会派へ持ち帰って説明していたわけですよ。今度はもう16人しかおらんのじゃから、前も言うたように全協でも開いて、もう覆らんとは思うけど、減額していきようるわけじゃから、やはりきちっと話をして、理解を求める意味で説明をしながらということをお願いしたいと思いますけどな、議長に。

それから、津島委員も言われましたけどね、タブレットについては、もう少し個人で持つとられる人もおるんじゃないから、その市の情報を個人のタブレットへ入れるという問題もきちっとせにゃいけんと思うん。そこを明確にして、小学校なんかエリアメールかなんかで情報が行きようるわけですよ。だから、それと同じような形で必要な情報は個人で持った者に協力してもらおうと。もっとそれこれ15%カットせんでもええような状況ならね、やっていきゃあええけど、その辺よく検討してください。要するに市の情報が個人のタブレットへどこまで許されるかということね。やはりパソコンなんか持って帰れんでしよう、それと一緒にです。やはり小学校の先生だっけ家に持って帰りようて、うっかり落としたり忘れたりして問題がいっぱい起こりようるわけじゃが。だから、その辺をきちっとして明確にしてもろうてください。個人で入れて使えるんなら、そういう方向で。

○橋本委員長 2番目のその他、ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

事務局もほうもない。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、以上で議会運営委員会を閉会いたしたいと思います。
御苦労さまでした。

午前11時44分 閉会